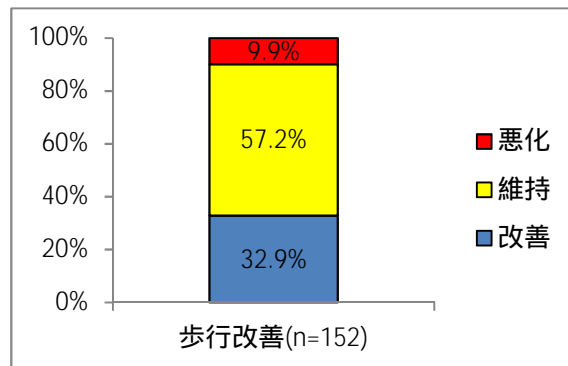


A 単純集計

【北海道】

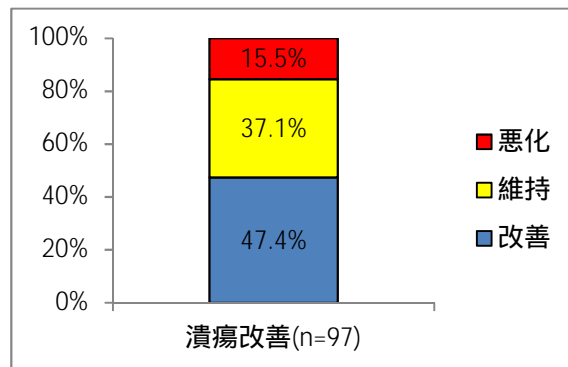
歩行改善 (n=152) について“悪化”が 9.9%、“維持”が 57.2%、“改善”が 32.9%であった。

図 1



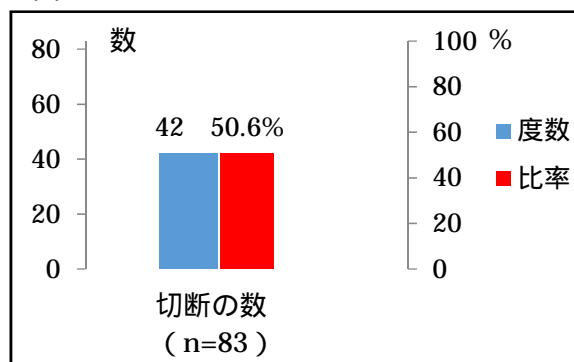
潰瘍改善 (n=97) について“悪化”が 15.5%、“維持”が 37.1%、“改善”が 47.4%であった。

図 2



切断の数は 42 でありこれは全体の 56.6%であった。

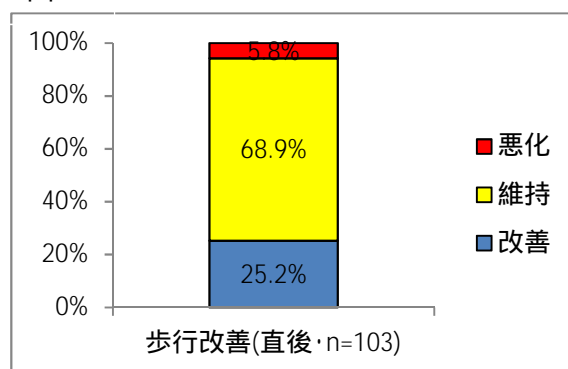
図 3



【九州】

歩行改善 (n=103) について“悪化”が 5.8%、“維持”が 68.9%、“改善”が 25.2%であった。

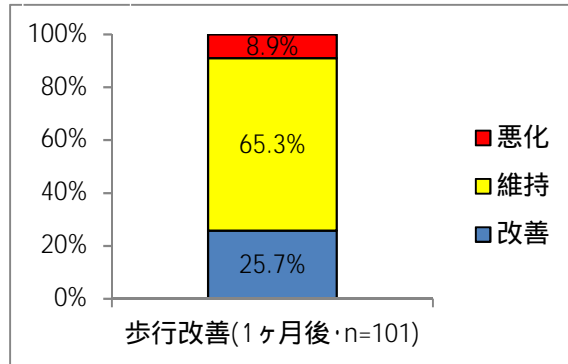
図 4



A 単純集計

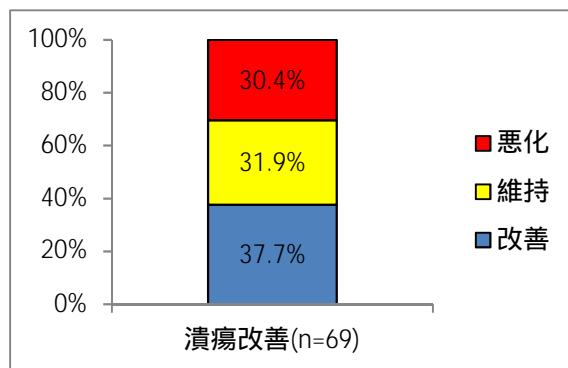
歩行改善(n=101)について“悪化”が8.9%、“維持”が65.3%、“改善”が25.7%であった。

図 5



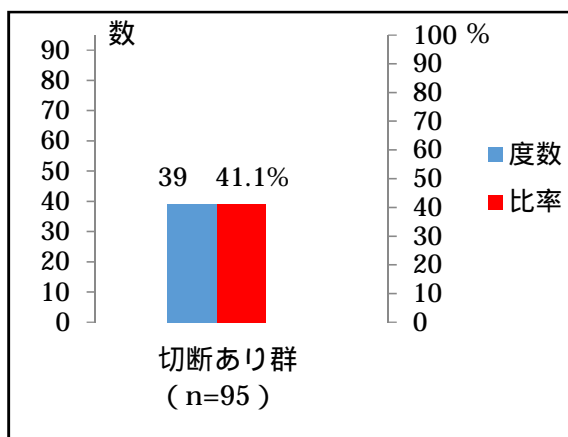
潰瘍改善(n=69)について“悪化”が30.4%、“維持”が31.9%、“改善”が37.7%であった。

図 6



切断数は 95 例であり、これは 41.1%に当たる。

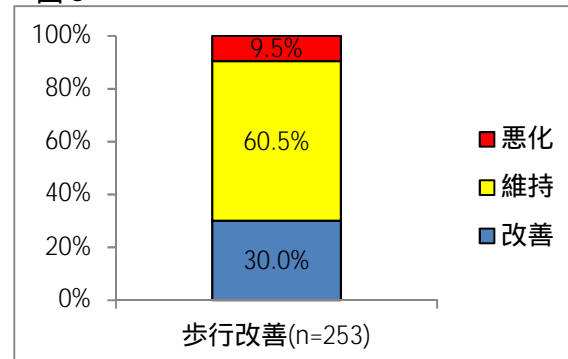
図 7



【合併（北海道と九州）】

歩行改善(n=253)について“悪化”が9.5%、“維持”が60.5%、“改善”が30.0%であった。

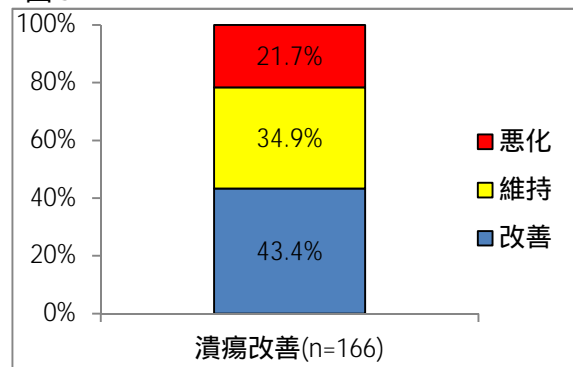
図 8



A 単純集計

潰瘍改善 (n=166) について“悪化”が 21.7%、“維持”が 34.9%、“改善”が 43.4%であった。

図 9



切断数は合併で 178 例であり、これは 45.5%に当たる。

図 10

